

こうとう民報

2013年 1月号 99

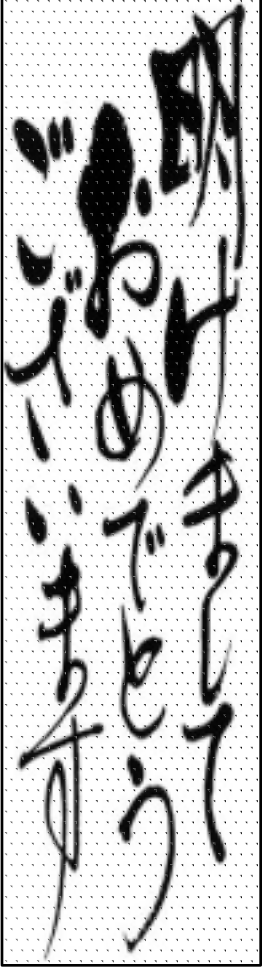
江東区の職場・地域 議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



新春からダツシュ!!

1月4日、初詣でにぎあう富岡八幡宮前で、春一番の消費税増税反対の署名行動をおこないました。この行動には、消費税をなくす全国の会、江東の会、新日本婦人の会、江東民主商工会、日本共産党、あぜ上三和子都議ら15名が参加しました



希望のもてる社会の実現に全力

日本共産党江東地区委員会
日本共産党江東区議団

新年明けましておめでとうございます。
安倍自公政権は、国防軍創設や集団的自衛権行使など、海外諸国も懸念している危険な道です。
「経済再生」では、財界言いなりに金融緩和と大型公共事業という、すでに破綻した政策をすすめ、原発推進まで公言しています。

日本共産党は、この悪政と対決し、消費税に頼らず国民所得をふやして内需を拡大し、社会保障を充実して、いのちとくらしを守る公約の実現をめざし、再び「戦争をする国」をねらうことを許さないために、国民のみなさんとともにたたかう決意を固めています。

都議会議員 あぜ上三和子



明けましておめでとうございます。
昨年中は、総選挙・都知事選をはじめ都議会内外の活動で、大変お世話になり、ありがとうございました。

医療・介護の拡充を求める運動、私学助成や特別支援学校の改善など教育の充実を求める運動など、議会内外の運動に全力で取り組んでまいりました。そうした中で、頑なに拒否していた都を動かす学校給食の放射能測定や少人数学級を実施させ、墨東病院のガン拠点病院化や認知症高齢者グループホームの増設など切実な都民要求を実現することができました。
今年、都議選・参議院選挙の年。みなさんと力を合わせて、さらに要求実現の先頭に立つて頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

参議院東京選挙区予定候補 吉良よし子



新年明けましておめでとうございます。
昨年の総選挙・都知事選挙ではみなさまの大きなご支援をいただき心から感謝申し上げます。

いよいよ今年は、都議選・参議院選挙の年です。私、吉良よし子は、「消費税増税中止」「即原発ゼロ」「憲法まもれ」というみなさんさまの声を大きく広げ、実現する先頭に立ってまいります。さらに、若者の貧困を解消し、希望のもてる社会をつくるため「若者への投資！」を大いに訴えて、若者に雇用とまともな働き方を実現するために全力で奮闘します。
そのためになんとしても首都東京から参議院へ押し上げていただきますようお願い申し上げます。

潮騒

新春の成人式は、吹き荒れる爆弾低気圧下の大雪に見舞われました。新成人の今後の厳しい前途の予兆でなければ、と思いません。戦前、テレビやゲームがない時代、お年玉代わりのアンデルセン童話、イソップ物語、三国志、源平盛衰記などを愛読。源平争乱の12世紀、平清盛が太政大臣だった頃に、日本は封建制社会になったといわれています。専横を極めた清盛をその子重盛が諫めた時、父親の法衣の下に透けて見える鎧に、その本心を悟るくだりがあります。07年、ある集会で憲法を語った際「安倍首相とかけ平清盛ととく、その心は衣の下に鎧が見える」と結びましたが、今の社会は武力ではなく、イデオロギーが支配しています。時代錯誤の「国防軍創設」と人権抑圧の新憲法制定を本意とする安倍政権は、「薄氷を踏む」思いで経済再生をアピールし、マスコミにもはやされていきますが、早くも消費税増税・原発・TPP推進で馬脚をあらわし、大型公共事業や軍事費増など破綻した悪政を復活させています。どの問題でも国民世論との矛盾は一層深刻化し、たたかいはこれから始まります。7月の都議選・参議院選にむけて、悪政の「防波堤」「変革者」そして「国民共同」の要となるべく、党の草の根の力が求められています。

「洪水と江東」

津波警告の碑（洲崎弁天境内）



概説

江東の歴史

(18)

「火事は江戸の花」といわれ、江戸にはおびただしい火事の歴史があります。江東では1682（天和2）年、深川の芭蕉庵、靈巖寺、海福寺、浄心寺、富岡八幡が焼け、1705（宝永2）年に両国橋、1745（延享2）年には亀戸天神が消失しました。

だが、火事より江東の人たちを苦しめたのは洪水です。南の東京湾から台風や高潮で津波が、北からは利根川の氾濫で洪水がおしよせました。もともと江東の地は、利根川の三角州を埋め立てつくられたゼロメートル地帯で、川の水面より低いところです。萍（うきくさ）の花より低き通りかな

（一茶）

数えきれない洪水の記録のなかで、1728（享保13）年9月には、暴風雨のために両国橋、新大橋が流されました。1786（天明6）年7月、下町全体が洪水におそわれ、深川、亀戸では二階から屋根に逃げましたが、砂村などでは將軍の鷹狩りなどで、二階屋は禁止され逃げ場がなかったため、その後、砂村には二階屋が許されました。

1791（寛政3）年9月4日、台風と高潮で洲崎一帯に津波がおしよせ、洲崎弁天社をはじめ家屋がことごとく流され、多くの死者を出しました。幕府は洲崎弁天から西の地域、5467坪を買いあげて空地とし、洲崎神社と平久橋際に津波警告の碑（都日跡指定）を建てました。

地震では、1703（元禄16）年11月23日に三十三間堂（現深川公園辺）が倒れました。1855（安政2）年10月2日の大地震の震源地は、亀戸から市川のあたりで、亀戸梅屋敷がつぶれ、普門院が大破し、江戸城をはじめ大名、旗本屋敷、多数の民家が倒壊、火災で江戸の大半が焼けました。深川・本所の埋立地での被害はとくに大きく、門前仲町の町屋はほとんど大破し、死者は深川で866人、本所で385人でした。

江東区職員労働組合

決意みなぎる！新春旗びらき

1月17日、江東区職労の新春旗びらきが区役所内で開かれました。内田委員長は年頭の挨拶で「職員体制、勤務条件を悪化させないため、年明けから徹夜に近い闘いをしました。安倍政権の膨大な国債発行を前提とした経済政策にマスコミの批判の声がない。今春闘は地域の方々と消費税引き上げ反対の取組みを重視します。大企業の内部留保は増え続けており、震災復興財源や弱者の懐を温めるために使うべきであると内外に訴えていきます」と決意表明。



12月19日、第93回・憲法9条守れ『9の日宣伝』が春闘共闘一斉宣伝と一体で区内7駅で取り組まれました。『9の日宣伝』は毎月、江東大運動実行委員会



さらに東京自治労連、特区連、区労連、共産党など来賓の挨拶とともに、明治乳業・JAL争議団など紹介され、江東大運動実行委員会 第93回 憲法9条守れ！『9の日宣伝』



の主催で取り組まれています。安倍政権は、憲法9条改悪を掲げ、国防軍の創設を打ち出し、アメリカと一緒に海外で戦争できる国づくりをすめようとしています。いまこそ憲法9条を守る運動が重要になっていきます。 亀戸駅での宣伝 東大島駅での宣伝

お楽しみみの抽選会で盛り上がり、和やかななかでも決意みなぎる旗びらきとなりました。

女性キャラバン宣伝！

国民の声が届く政治へ！

1月15日、日本共産党江東地区委員会は、女性後援会を中心に区内5カ所で女性キャラバン宣伝を行いました。吉良よし子参議院東京選挙区予定候補は、安倍政権が原発の



訴えを行うあぜ上都議と吉良参議院東京選挙区予定候補 新規増設まで言い出していることを批判。「地震大国の日本で原発を再稼働するの、動かすだけで出てくる核のゴミはどうするの」と総選挙後、国民の怒りの声は広がっています。あぜ上三和子都議は、東日本

行事日程 ○2月1日（金）19時『社会保障制度改革推進法学習会』（江東社会保険推進協議会）総合区民センター ○2月10日（日）13時30分『新春のつどい』（江東健康友の会）サウスフラッツ集会所（扇橋診療所居住マンション内） ○2月11日（月・祝）10時『江東母親会』（新婦人江東支部）総合区民センター ○2月26日（火）『怒りの地域総行動・区民集会』

12月23日、正保みきお事務所は、餅つき大会を行いました。たぐさんの人で賑わいました。



○2月26日（火）『怒りの地域総行動・区民集会』 *早朝から駅頭宣伝・要請行動を行い18時45分、東陽公園にて区民集会を開き、集会後、臨海公園までデモ行進